



この春はじめる「農ある暮らし」

生活に「農」を取り入れた暮らし方は、人それぞれです。家庭菜園で野菜をつくる、地域で行われる農作業に参加する、農家に手伝いに行く…。そんな関わり方を紹介します。

家庭菜園をはじめ

野菜を育てようと思いついたとき、栽培の情報はインターネットでも探せます。ただ、その情報がこの地域の環境にあっているとは限りません。近くで栽培している人に聞けるとよいのですが、身近にいないというときはこちらにご相談を。

【問合せ先】長野県農ある暮らし相談センター (平日 [月・水・金] 9:00～12:00 / 13:00～16:00)

TEL.080-4949-5937 noaru.nagano@gmail.com

※家庭菜園のはじめ方・栽培管理や病気・害虫の対処法といった疑問にもお答えします。

農作業に参加する

土や生きものに触れ、植物の育ちを知り、収穫のうれしさを感じることができます。地域で募集される体験がありますので、参加してはいかがでしょうか。

●オーガニックファーム (農業課)

親子(保育園児)を対象とした有機農業の体験教室です。

【問合せ先】飯田市農業課 生産振興係 TEL.21-3217

※定員に達している場合があります。

●千代よこね田んぼ (千代よこね田んぼ保全委員会)

日本の棚田百選に選ばれている棚田で、あぜぬり、田植え、稲刈りなどの作業に参加できます。

【問合せ先】千代自治振興センター TEL.59-2003



よこね田んぼの田植え

農家に手伝いに行く

農家の指導のもとで作業したいときは、知り合いの農家に行くほかにこんな方法もあります。

●ワーキングホリデー (農業課)

農業・農村に関心のある人と農繁期の農家をつなぐ援農ボランティアです。

飯田市のウェブサイト
「ワーキングホリデー」→



●1日農業バイト daywork (JAみなみ信州)

アプリ「デイワーク」で農作業の求人情報を見ることができ、1日単位で申し込みます。

iPhone/iPad



Android



お問合せ先

飯田市農業課 農業振興センター係 ☎0265-21-3217

凍霜害の対策について

3月下旬から5月中旬頃にかけては、遅霜による農作物被害の発生が懸念される季節になります。これらの被害を抑えるため、農家の皆様は防霜ファンや、場合によっては燃焼法を用いることもあるかと思えます。燃焼法で用いる資材は、炎がほとんどなく、ばい煙も少ないことから環境への影響が少ないものではありますが、使用する場合には**最寄りの消防署に連絡**するようにお願いいたします。

農業情報メールをご活用ください

登録は以下のメールアドレス、または右記QRコードへ空メールをお送りください。

iida-n@cousmail-entry.cous.jp



配信情報

- 農作物自然災害情報(凍霜害、台風など)
- 農作物等被害対策情報 ほか

お問合せ先

飯田市農業課 生産振興係 ☎0265-21-3217

全国農業新聞を購読してみませんか

全国農業新聞は農業者の公的代表機関である農業委員会組織が毎週1回発行する“農家のための情報誌”です。

- 「週刊」という時間を生かし、一週間の農政の動きや流通の状況などをわかりやすく解説しています。
- 全国47都道府県にある支局の県版、地方版の充実により地域独自の話題や情報を提供します。
- 多くの方に読んでもらえるよう、家族全員が楽しめる記事も充実しています。

発行日

毎週金曜日発行 (B3版8~10頁建)

購読料

新聞本誌 … 月額700円(送料・税込) ※新聞本誌の方は電子版も利用できます。

電子版 …… 月額500円(税込)

申込み

飯田市農業委員会事務局または地域の農業委員・農地利用最適化推進委員

※電子版の申込みは、全国農業新聞ホームページで受付けています。



全国農業新聞ホームページ
<https://www.nca.or.jp/shinbun/>

お問合せ先

飯田市農業委員会事務局 ☎0265-21-3219

農業代行サービス等の情報を提供してください



人手不足、農地の管理に対応した農業代行サービス、農業機械等のレンタルに取り組んでいる農業法人などありましたら、飯田市農業振興センターまで情報を提供してください。



ご連絡・お問合せ先

飯田市農業振興センター ☎0265-21-3217